MUSASHINO
BANK

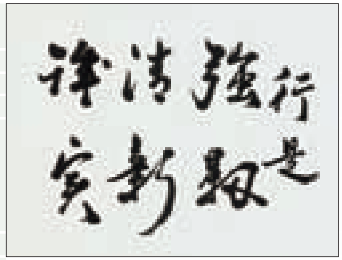
2006.3
ミニディスクロージャー誌

武蔵野銀行 Vol.21

プロフィール

■武蔵野銀行

名称	株式会社　武蔵野銀行 The Musashino Bank,Ltd.		
本店所在地	さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8		
ホームページ	http://www.musashinobank.co.jp		
設立	昭和27年3月6日		
ネットワーク	営業店舗数	91か店 （県内89、県外2）	
	住宅ローンセンター数	10か所	
	店舗外ATM数	109か所	
	ATM・CD設置台数	463台	
従業員数	1,905名		
総資産	31,383億円		
預金残高	28,806億円		
貸出金残高	22,681億円		
資本金	457億円		
発行済株式数	34,455,456株		
自己資本比率	10.21%		（18年3月31日現在）



【行是】
昭和47年に制定された行是は、「強靱（強く、粘り強いこと、日常の鍛錬と合理性・団結を伴うもの）」、「清新（新しい感覚と創造力、積極性をもって行動）」、「誠実（公共的使命を認識し地域と大衆に奉仕せよ）」の3つの言葉で、当行役職員の精神の基本となっている。

■武蔵野銀行グループ

武蔵野銀行グループは、当行、グループ会社7社（連結子会社）で構成し、銀行業務を中心に銀行事務の代行業務、リース業務などの金融サービスに係る事業を行っています。

- ぶぎんビジネスサービス株式会社・・・・・・・・・銀行事務代行業務
- ぶぎん総合リース株式会社・・・・・・・・・・・・・・総合リース、ファクタリング、営業資金の貸付業務
- ぶぎん保証株式会社・・・・・・・・・・・・・・・・・・個人向け融資に係る信用保証業務
- むさしのカード株式会社・・・・・・・・・・・・・・・・クレジットカード（JCB、VISA）、金銭の貸付、信用保証業務
- ぶぎんシステムサービス株式会社・・・・・・・・・コンピュータシステムの開発、販売、保守管理業務
- 株式会社ぶぎん地域経済研究所・・・・・・・・・県内経済、産業の調査研究、経営・税務等の相談 各種セミナーの開催
- 株式会社ぶぎんキャピタル・・・・・・・・・・・・・・ベンチャー企業への投資、経営相談

■目　次 CONTENTS

プロフィール・・1
ごあいさつ・・・2
経営方針
　経営理念、中期経営計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
業績ハイライト
　業績のポイント、自己資本比率、格付け・・・・・・・・・・・・・・・・4
　資金運用、資金調達、経費、損益・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
　資産の自己査定と不良債権の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
　単体決算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
　連結決算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
　収益体系図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
内部管理体制
　コーポレート・ガバナンス、勧誘方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
県民の皆様とともに
　埼玉県の特性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
　県民の皆様への貸出金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12～14
　地域経済活性化のために・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15～16
　県民の皆様からの預金・預り資産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17～18
　より便利にご利用いただくために・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19～20
　社会貢献活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
お知らせ・・・22

※本誌に掲載の計数は、単位未満を切り捨ての上表示しています。

ごあいさつ

当行は、このたび、17年度（17年4月1日から18年3月31日まで）における営業の概況や決算の状況などをお知らせするため、小冊子を作成しました。私どもに対するご理解の一助となれば幸いに存じます。

当期は、経営の効率化を高めるため、18年1月、コンピュータシステムを地銀8行による共同版システムに移行しました。また、地元埼玉のお客様の利便性にお応えするため、狭山支店、志木支店の新築移転、東川口支店、久喜住宅ローンセンターの新設やATMネットワークの整備に努めました。加えて、お客様の多様化・高度化する資産運用相談ニーズにより適切にお応えするため、投資信託、保険商品等の品揃えを拡充するとともに、営業店の資産運用相談体制の充実を図りました。

一方、地元中小企業等の皆様に対しては、高度化する経営課題への様々なサポートやお取引先のニーズに適った商品を提供するとともに、事業再生、創業・新事業の支援体制を充実するため、専門的コンサルティングの強化や外部専門機関等との提携を推進してまいりました。

18年度は中期経営計画「JUMP UP 21」の最終年度であります。この計画が目指す「地域貢献度No.1銀行、埼玉県民のベストリテールバンク」を実現するため、これまで以上に多様で魅力ある商品の提供と付加価値の高い提案活動、ソリューション営業など質の高い金融サービスの展開に努めるとともに、内部管理体制を強化し、健全な財務体質の構築を図り、透明性の高い経営を実践していく所存でおりますので、今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

いつも、
武蔵野銀行をご利用いただきまして、
まことにありがとうございます。

頭　取　三輪克明

18年6月

経営方針

経 営 理 念

「地域共存」・・・・・豊かな地域社会の実現に寄与し、地域とともに発展します。
「顧客尊重」・・・・・変化を先取りした果敢な経営を展開し、組織を挙げて最良のサービスを提供します。

当行は、「地域共存」、「顧客尊重」を永遠の経営理念に掲げ、16年4月にスタートした中期経営計画「JUMP　UP 21」を推進しています。

今年度は、その最終年度に当たりますので、基本方針・基本戦略で掲げた課題克服と、計画目標の達成に向けて、全力で取組んでまいります。

中期経営計画「JUMP UP 21」（16年4月～19年3月）

経営ビジョン	地域貢献度No.1銀行、「埼玉県民のベストリテールバンク」
基 本 方 針	《地域のお客様、株主、従業員》の満足度向上を追求
基 本 戦 略	1. 収益力の一段の強化、内部留保の増強 2. 資産内容の一層の健全化 3. 収益管理・リスク管理体制の確立 4. グループ全体の組織・人材の更なる活性化

	18年3月期実績		19年3月期最終計画
コア業務純益	214億円	→	230億円以上
コアROA	0.69%	→	0.70%以上
ROE	7.84%	→	8.50%以上
コアOHR	62.01%	→	60.0%未満
自己資本比率	10.21%	→	9.50%以上
不良債権比率	3.21%	→	3.0%未満
貸出金平残	21,488億円	→	21,714億円以上
預金平残	28,290億円	→	29,488億円以上

用語解説

コア業務純益・・・銀行の本業（資金の運用、手数料等）から得られた利益のこと。
コアROA・・・利益を総資産で除して求める収益性の財務指標で高い方がよい。
ROE・・・株主資本に対する純利益の比率のことで、株主資本をもとに当行が1年間に上げた収益率を知る指標で高い方がよい。
コアOHR・・・業務粗利益に対する経費の割合のことで、営業の効率性（利益をあげるためにどのくらいの経費をかけているか）を示す指標で低い方がよい。
平残・・・1年間の平均残高のこと。

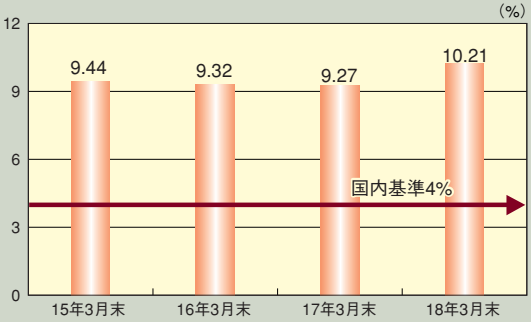
業績ハイライト

17年度は、これまで以上に経営の健全性が向上するとともに、営業基盤を拡大することができました。これもひとえに県内のお取引先企業、個人のお客様からのご支持と高い信頼によるものと受止めています。主な概要は以下のとおりです。

業績のポイント

①貸出金残高は、2兆2,681億円となり、前年比年率8.5%、1,785億円増加しました。
②預金残高は、2兆8,806億円となり、前年比年率2.7%、761億円増加しました。
③自己資本比率は、10.21%となり、前年比0.94%上昇しました。
④不良債権比率は、3.21%となり、前年比0.61%低下しました。
⑤経常利益は3年連続で、コア業務純益、当期純利益ともに4年連続で最高益を更新しました。

自己資本比率



銀行の健全性、安全性を示す指標の一つ自己資本比率は、17年11月の増資と利益計上による内部留保の積上げにより、前年比0.94ポイント増加し、10.21%となり、国内だけで営業する銀行に必要な4%の基準を大きく上回る水準にあります。

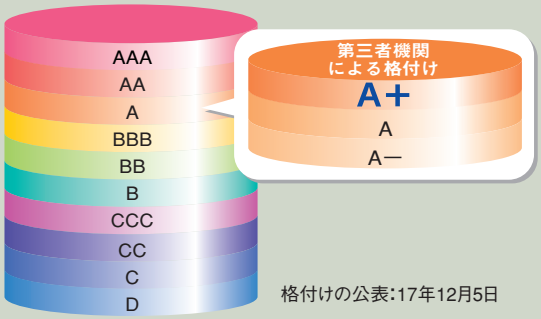
用語解説

自己資本比率とは、リスクアセット（総資産のうち万一の場合に貸倒れの可能性のある資産）に対して資本金などの自己資本がどれくらいあるかを示す指標のことで、国内だけで営業する銀行は4%以上確保することが求められています。

格付け

「格付け」は、当行が発行する長期優先債務の払戻しの確実性を利害関係のない第三者が評価した投資家向け情報です。当行では17年12月に日本格付研究所から、貸出の質の健全化が進んでいること、貸出の伸びが鮮明になっていること、本業収益の拡大基調が続いていること等を理由に、これまでの「A」（シングルAフラット）の1ノッチ上の「A＋」（シングルAプラス）に格上げされました。

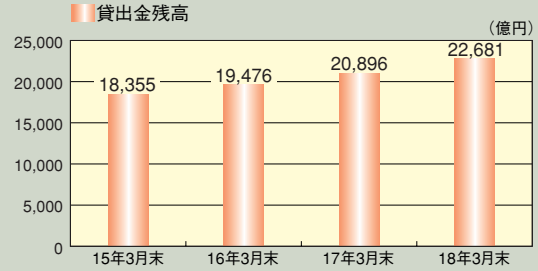
格付「A＋」（シングルAプラス）は、同社の格付等級の10段階中、上から3番目に当たる評価となっています。



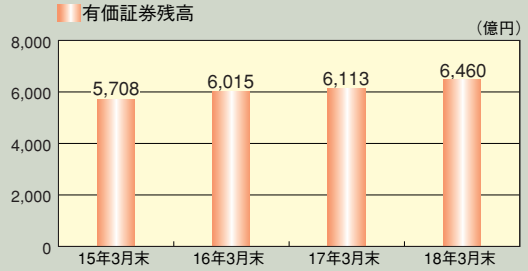
格付けの公表：17年12月5日

業績ハイライト

資金運用

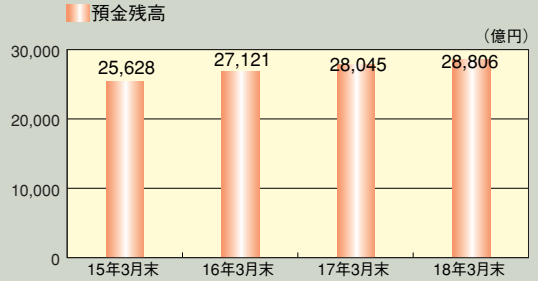


貸出金は、県内の地元企業、個人のお客様との貸出取引等の拡大に努めた結果、18年3月末残高が前年比1,785億円増加し、2兆2,681億円となりました。



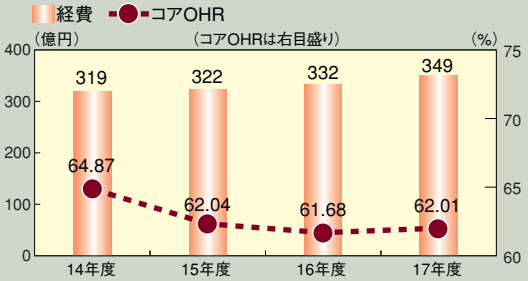
有価証券は、国債・地方債等の公共債を中心に安全と効率的な資金運用に努めた結果、18年3月末残高が前年比347億円増加し、6,460億円となりました。

資金調達



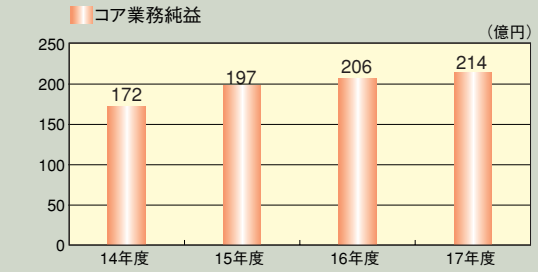
預金は、店舗の新設やインターネットバンキングなど営業チャネルの拡充に努めた結果、18年3月末残高が前年比761億円増加し、2兆8,806億円となりました。

経　費

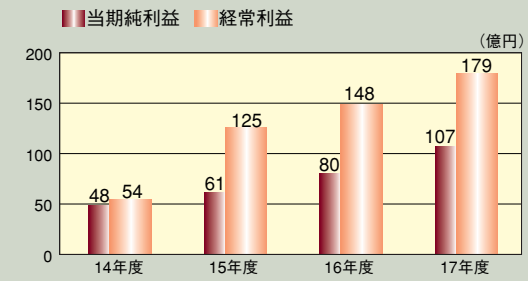


システム移行に伴う特殊要因により経費が、17億円増加したため、営業の効率性を示す17年度のコアOHRは前年比0.33ポイント増加の62.01%となりました。

損　益



本業の収益力を示すコア業務純益は、貸出運用力の強化や投信・保険等の役務利益の増強に努めた結果、17年度は前年比7億円増加し214億円となり、4年連続で過去最高益更新となりました。



コア業務純益の増加に加え、不良債権処理や株式関係費用等の減少から経常利益は、前年比30億円増加し179億円に、当期純利益も26億円増加し107億円となり、いずれも最高益更新となりました。

資産の自己査定と不良債権

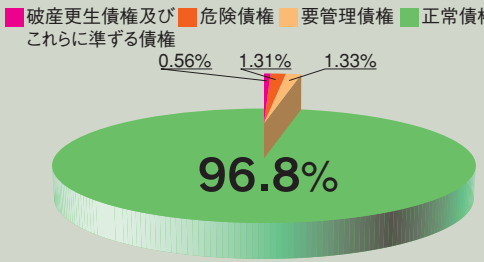
■減少する不良債権

当行は、年2回貸出金等の資産価値を自己査定し、5段階に分類するとともに、ご返済の可能性等に応じて不良債権処理に備え貸倒引当金を積立て引当処理を実施しています。18年3月末実績は、破産更生債権及びこれらに準ずる債権が前年比24億円、危険債権も59億円減少しましたが、要管理債権が10億円増加したため、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権、要管理債権などいわゆる不良債権残高は、前年比73億円減少の737億円となりました。

■金融再生法に基づく開示債権

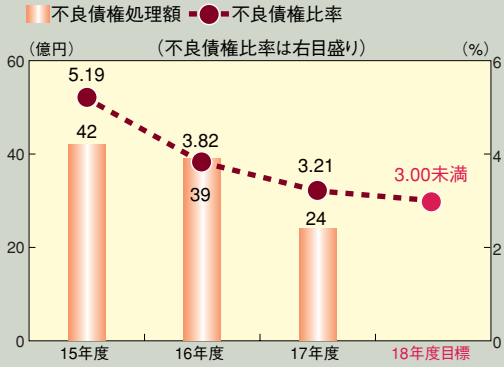
（億円）

	17年3月末	18年3月末	増　減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	153	129	△24
危険債権	361	302	△59
要管理債権	296	306	10
小計（不良債権）	810	737	△73
正常債権	20,373	22,211	1,838
合　　計	21,183	22,949	1,766



■進む不良債権処理

17年度末の不良債権比率は、0.61ポイント低下の3.21%となり、資産の健全化が一段と進みました。また、不良債権処理額も年度を追うごとに低下しています。



用語解説

破産更生債権及びこれらに準ずる債権
破産、会社更生、再生手続等の理由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

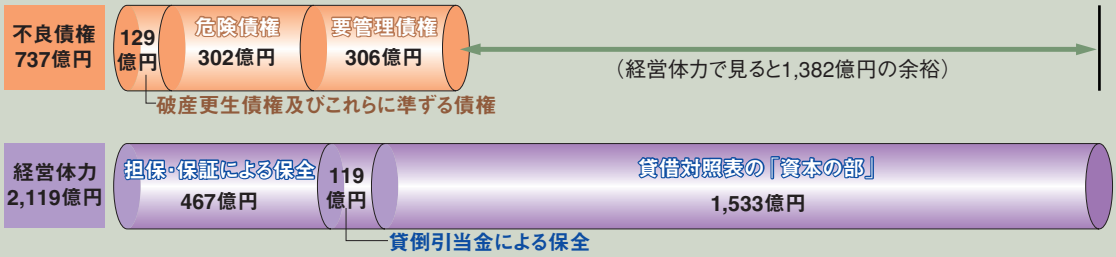
危険債権
債務者が経営破綻までには至ってないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約どおりに債権の元本及び利息の回収ができない可能性のある債権です。

要管理債権
「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」を除く、3か月以上延滞している債権及び貸出条件を緩和している債権です。

不良債権への備え

17年度末の不良債権737億円に対する備えでは担保・保証による保全467億円、貸倒引当金による保全119億円の586億円が担保され、保全率は79.5%の実績です。

残りの151億円は直に保全が必要な債権ではなく、仮に全額追加負担となっても、自己資本で処理できるだけの十分な経営体力を有していることから、不良債権の備えは万全です。



業績ハイライト

貸借対照表

（百万円）

科　目	17年3月期	18年3月期
（資産の部）	金　額	金　額
現金預け金	155,021	135,315
コールローン	52,577	1,258
買入手形	17,300	―
買入金銭債権	23,774	17,127
商品有価証券	435	561
金銭の信託	1,500	1,500
有価証券	611,387	646,020
貸出金	2,089,619	2,268,117
外国為替	1,639	1,701
その他資産	13,613	16,241
動産不動産	35,434	35,629
繰延税金資産	11,807	5,107
支払承諾見返	26,949	25,064
貸倒引当金	△19,982	△15,334
資産の部（注1）合計	**3,021,077**	**3,138,309**

（負債の部）	金　額	金　額
預金	2,804,592	2,880,664
譲渡性預金	4,610	15,040
コールマネー	8,165	8,222
債券貸借取引受入担保金	―	2,928
借用金	27,983	27,951
外国為替	90	167
その他負債	16,667	12,390
賞与引当金	1,318	1,316
退職給付引当金	5,423	5,533
再評価に係る繰延税金負債	5,100	5,655
支払承諾	26,949	25,064
負債の部（注2）合計	**2,900,902**	**2,984,936**
（資本の部）		
資本金	36,690	45,743
資本剰余金	29,301	39,439
資本準備金	29,301	38,351
その他資本剰余金	0	1,088
自己株式処分差益	0	1,088
利益剰余金	37,592	46,709
利益準備金	10,082	10,082
任意積立金	18,433	25,019
当期未処分利益	9,076	11,607
当期純利益	8,057	10,735
土地再評価差額金	7,496	6,971
株式等評価差額金	10,797	14,670
自己株式	△1,704	△162
資本の部（注3）合計	**120,175**	**153,373**
負債及び資本の部合計	**3,021,077**	**3,138,309**

損益計算書

（百万円）

科　目	17年3月期	18年3月期
	金　額	金　額
経常収益（注4）	63,730	64,788
資金運用収益	49,707	51,821
（うち貸出金利息）	（42,027）	（43,059）
（うち有価証券利息配当金）	（7,480）	（8,561）
役務取引等収益	8,735	9,679
その他業務収益	2,107	1,523
その他経常収益	3,180	1,763
経常費用（注5）	48,884	46,857
資金調達費用	1,888	2,082
（うち預金利息）	（817）	（862）
役務取引等費用	3,915	4,167
その他業務費用	2,127	1,899
営業経費	34,620	35,972
その他経常費用	6,333	2,735
経常利益（注6）	14,846	17,930
特別利益	37	600
特別損失	933	239
税引前当期純利益	13,950	18,290
法人税、住民税及び事業税	4,400	3,477
法人税等調整額	1,492	4,076
当期純利益	8,057	10,735
前期繰越利益	1,676	1,672
土地再評価差額金取崩額	124	△17
中間配当額	783	783
当期未処分利益（注7）	9,076	11,607

用語解説

注1:「資産の部」は、お客様への「貸出金」、国債・株式などの「有価証券」など銀行の資産運用に関すること、及び動産不動産など資産の保有状況を表しています。

注2:「負債の部」は、お客様からお預りしている「預金」、「譲渡性預金」など主に資金の調達の状況を表しています。

注3:「資本の部」は、株主の皆様からご出資いただいた資本金やこれまで利益などにより積上げてきた剰余金などを表しています。

注4:「経常収益」は、一般企業の売上高に相当し、貸出金利息、各種手数料などの収益を表しています。

注5:「経常費用」は、一般企業の売上原価に相当し、預金利息や営業経費などの費用を表しています。

注6:「経常利益」は、銀行の営業活動によって通常発生する「経常収益」から「経常費用」を差し引いたもので、毎年生じる通常の利益を表します。

注7:「当期未処分利益」は、当期の営業活動の結果である当期純利益に前期からの繰越金や中間配当など既に支払った金額などを加減して手元に残った金額で、当行自身の営業努力によって得られた資本のことです。

業績ハイライト

連結貸借対照表

（百万円）

科　目	17年3月期	18年3月期
（資産の部）	金　額	金　額
現金預け金	155,572	136,257
コールローン及び買入手形	69,877	1,258
買入金銭債権	23,774	17,127
商品有価証券	435	561
金銭の信託	1,500	1,500
有価証券	611,897	647,741
貸出金	2,078,213	2,256,520
外国為替	1,639	1,701
その他資産	44,727	46,308
動産不動産	36,738	37,011
繰延税金資産	14,393	7,795
支払承諾見返	26,949	25,064
貸倒引当金	△22,835	△18,898
投資損失引当金	△0	△0
資産の部合計	**3,042,885**	**3,159,949**

（負債の部）	金　額	金　額
預金	2,797,216	2,876,447
譲渡性預金	3,610	12,040
コールマネー及び売渡手形	8,165	8,222
債券貸借取引受入担保金	—	2,928
借用金	40,766	40,471
外国為替	90	167
その他負債	30,901	24,959
賞与引当金	1,418	1,414
退職給付引当金	5,463	5,571
再評価に係る繰延税金負債	5,100	5,655
支払承諾	26,949	25,064
負債の部合計	**2,919,682**	**3,002,942**
（少数株主持分）		
少数株主持分	**1,998**	**2,518**
（資本の部）		
資本金	36,690	45,743
資本剰余金	29,301	39,439
利益剰余金	38,629	47,825
土地再評価差額金	7,496	6,971
株式等評価差額金	10,797	14,670
自己株式	△1,711	△162
資本の部合計	**121,204**	**154,488**
負債、少数株主持分及び資本の部合計	**3,042,885**	**3,159,949**

連結損益計算書

（百万円）

科　目	17年3月期	18年3月期
	金　額	金　額
経常収益	75,200	76,781
資金運用収益	50,129	52,224
（うち貸出金利息）	(42,442)	(43,450)
（うち有価証券利息配当金）	(7,486)	(8,572)
役務取引等収益	9,434	10,483
その他業務収益	2,702	2,150
その他経常収益	12,933	11,923
経常費用	58,923	57,950
資金調達費用	2,179	2,258
（うち預金利息）	(817)	(862)
役務取引等費用	3,301	3,552
その他業務費用	2,127	1,899
営業経費	34,983	36,335
その他経常費用	16,331	13,903
経常利益	16,276	18,831
特別利益	141	605
特別損失	941	241
税金等調整前当期純利益	15,475	19,196
法人税、住民税及び事業税	4,704	3,882
法人税等調整額	1,508	3,975
少数株主利益	632	517
当期純利益	8,631	10,821

連結剰余金計算書

（百万円）

科　目	17年3月期	18年3月期
	金　額	金　額
（資本剰余金の部）		
資本剰余金期首残高	29,301	29,301
資本剰余金増加高	0	10,137
資本剰余金期末残高	29,301	39,439
（利益剰余金の部）		
利益剰余金期首残高	31,473	38,629
利益剰余金増加高	8,755	10,821
利益剰余金減少高	1,600	1,625
利益剰余金期末残高	38,629	47,825

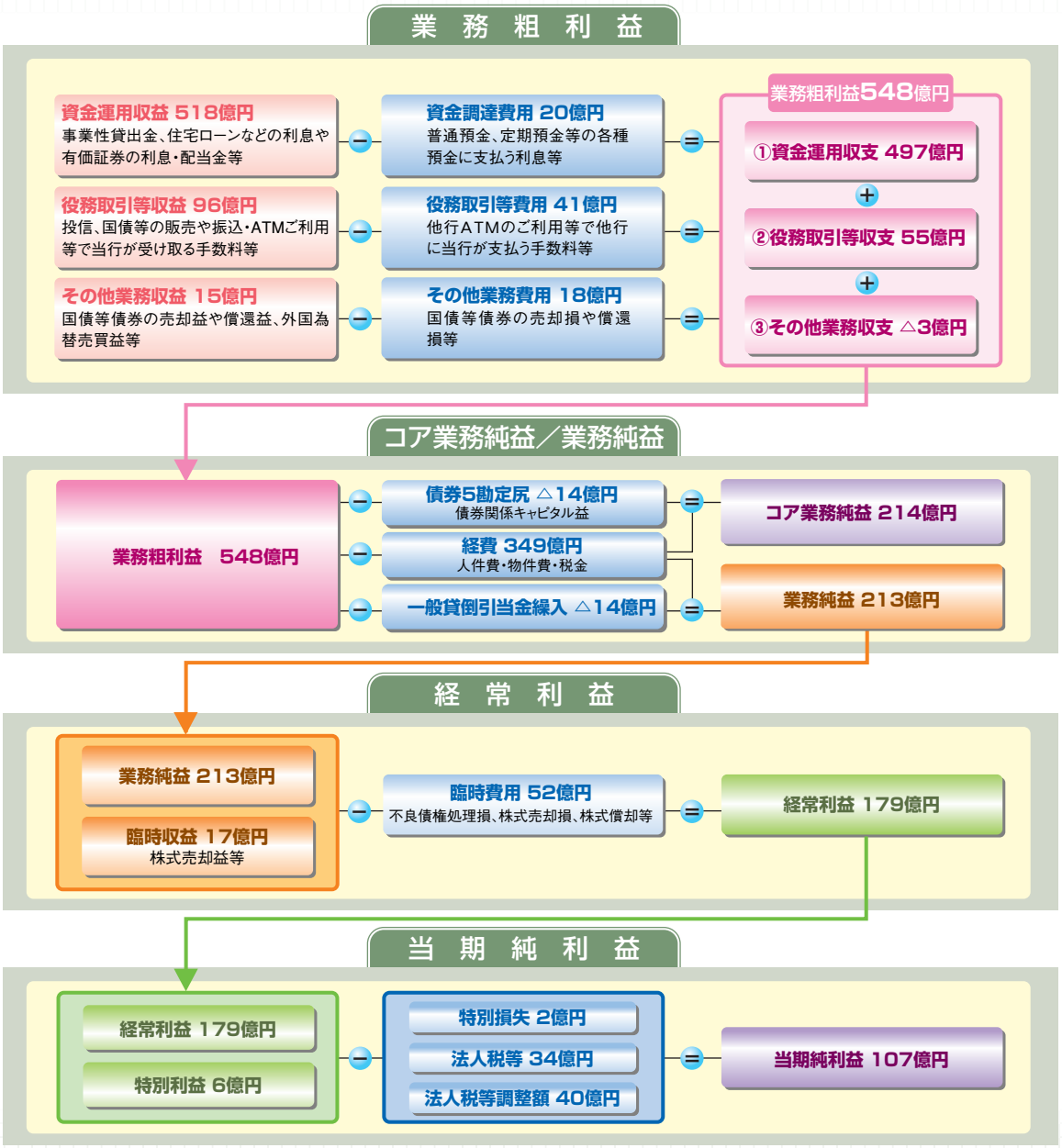
連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（百万円）

科　目	17年3月期	18年3月期
	金　額	金　額
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,430	△6,550
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,554	△32,308
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,714	19,084
現金及び現金同等物の増加額	△7,837	△19,775
現金及び現金同等物の期首残高	162,454	154,616
現金及び現金同等物の期末残高	154,616	134,841

業績ハイライト

収益体系図



内部管理体制

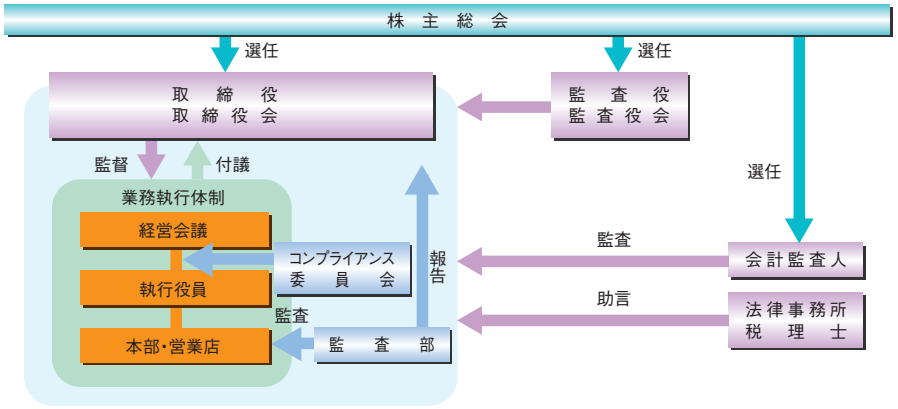
当行は、社会の一員として、地域社会との良好な関係を保ちながら持続的に発展を続けるため、コーポレート・ガバナンス（企業経営に不正行為がないことをチェックする機能）の充実、コンプライアンス（法令遵守）の徹底など内部管理体制の強化に努めています。

コーポレート・ガバナンス体制

当行では、コーポレート・ガバナンスを経営上の重要課題と認識し、法令、行内規程を遵守しつつ、取締役会及び監査役会において、取締役の職務の執行について厳正な監視を行っています。また、執行役員制度により、経営と業務執行の役割分担を明確化し、取締役と執行役員がそれぞれ責任を持って業務を行う体制としています。経営の観点からもコンプライアンス全般を評価し、社会規範に則した誠実、公正で透明性の高い企業活動を実現するため、コンプライアンス委員会を設置し、半期に一度、コンプライアンスに係る推進施策、コンプライアンス体制などについて審議しています。

[コーポレート・ガバナンス体制図]

（18年3月31日現在）



お客様への商品勧誘にあたって

お客様への商品の勧誘にあたり、「勧誘方針」を制定・公表し、誠実、適正な営業活動を行っています。

1.お客様の知識、経験や保有資産の構成などを勘案させていただいた上で、お望みの目的にかなうと判断される金融商品をお勧め致します。
2.最終的にはお客様自身のご判断でお取引をいただくため、商品内容やリスク内容など重要な事項を十分ご理解いただけるよう、説明に努めます。
3.断定的な判断を申し上げたり、事実でない情報を提供するなど、お客様の誤解を招くような勧誘は行いません。
4.お客様にとって不都合な時間帯やご迷惑な場所などで勧誘を行うことは致しません。
5.これらの勧誘方針に沿った適正な勧誘を行うために、研修体制の充実や行内ルールの整備に努めます。

当行は、円滑な資金供給と金融サービスの提供という銀行の本来業務を通じて、地域社会の発展に貢献していくことが、社会的使命と考えています。

こうした認識のもと、当行では自らが掲げる経営理念に従い、お客様にご満足いただける総合金融サービスの開発・提供と地域の皆様からのご理解と信頼を得られますよう、様々な取組みについて情報開示を進めていきます。

埼玉県の特性

■埼玉県の主な「花き」生産

埼玉県は、気象災害が少なく、首都圏という販売環境にも恵まれ、古くから切り花・球根・鉢物・苗木等の「花き」の出荷が盛んに行われている、全国有数の“花産地”です。特に「ユリ」、「チューリップ」、「プリムラ」は有名です。

埼玉県は、現在推進中の県民運動「花いっぱい咲いたま」の集大成として、国内最大級の花の祭典「ジャパンフラワーフェスティバルさいたま2007（仮称）」を19年6月1日（金）から3日（日）まで、さいたまスーパーアリーナで開催する予定です。

出所：農林水産統計「平成17年産花きの作付（収穫）面積及び出荷量」

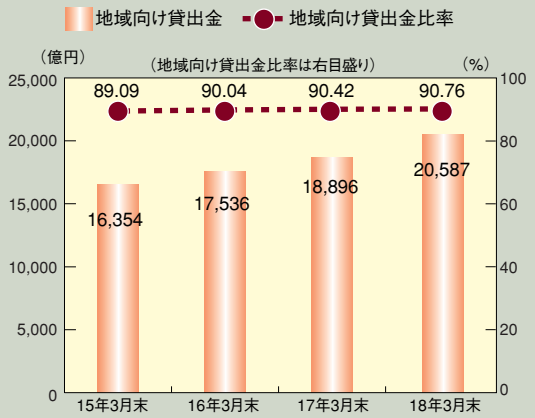
■埼玉県の主な経済指標等

	埼玉県	全国シェア	全国順位	調査時点又は期間
総面積	3,797㎢	1.0%	39位	平成15年10月1日
人口	705万人	5.5%	5位	平成17年10月1日
事業所数（民営）	238,628事業所	4.2%	6位	平成16年 6月1日
県内総生産（名目）	20兆788億円	4.1%	5位	平成15年度
製造品出荷額	13兆5,690億円	4.8%	5位	平成16年
大型小売店販売額	1兆626億円	4.9%	5位	平成15年
乗用車新車登録台数	196,377台	5.8%	5位	平成16年
新設住宅着工戸数	76,236戸	6.2%	5位	平成17年

ぶぎん地域経済研究所調べ。乗用車新車登録台数は、軽自動車を除く。

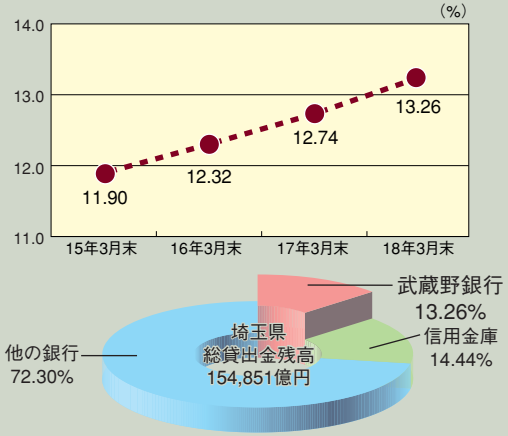
県民の皆様とともに

地域向け貸出金



18年3月末の地域向け貸出金は、前年比1,691億円増加し、2兆587億円となり、地域向け貸出金比率も0.34ポイント増加し、90.76%となりました。

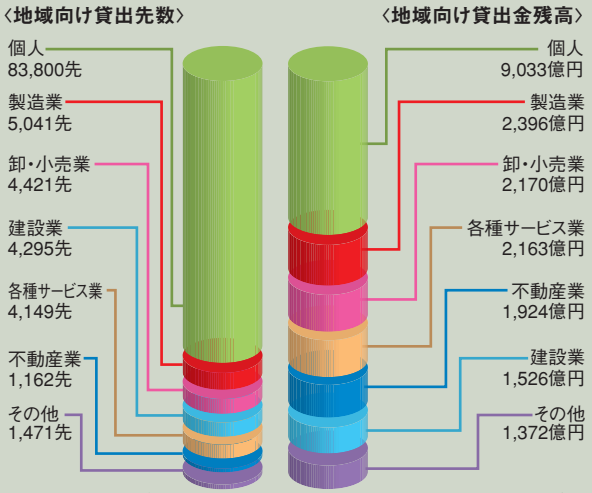
県内貸出金シェア



地域向け貸出金が大幅に増加したことに伴い、18年3月末の県内貸出金シェアは、前年比0.52ポイント増加し、13.26%となりました。

出所：埼玉県主要経済指標（関東財務局）をもとに当行で作成。
銀行は全店舗計（属地主義）、信用金庫は本店所在地ベース

業種別貸出金の内訳



（先・百万円）

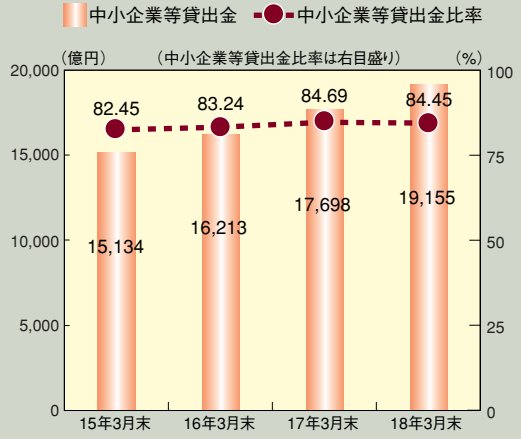
	貸出先数	うち地域向け	貸出金残高	うち地域向け
製造業	5,104	5,041	267,569	239,629
農業	117	117	2,997	2,997
林業	1	1	124	124
漁業	2	2	7	7
鉱業	15	12	4,809	946
建設業	4,306	4,295	168,889	152,651
電気・ガス・熱供給・水道業	110	108	9,410	5,776
情報通信業	186	184	6,365	6,085
運輸業	976	964	68,884	62,558
卸・小売業	4,460	4,421	233,549	217,041
金融・保険業	77	49	101,649	7,338
不動産業	1,181	1,162	209,901	192,452
各種サービス業	4,175	4,149	236,234	216,391
地公体	34	34	51,443	51,443
個人	84,016	83,800	906,279	903,309
合計	104,760	104,339	2,268,117	2,058,750

業種別でみた当行の地域向け貸出金は、先数では個人が8割弱を占めますが、残高では4割強に止まり、製造業を含む5業種が1割前後の残高を維持するなど、特定業種への偏重もなく、バランス良く分散されています。

※当行では「地域」について、埼玉県及び経済圏・生活圏等が重なる茨城県五霞町と位置づけています。

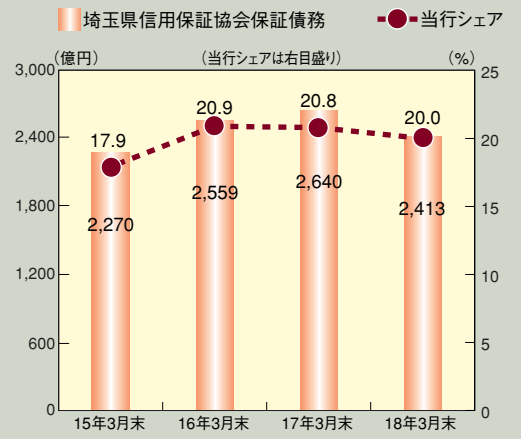
県民の皆様とともに

中小企業等貸出金



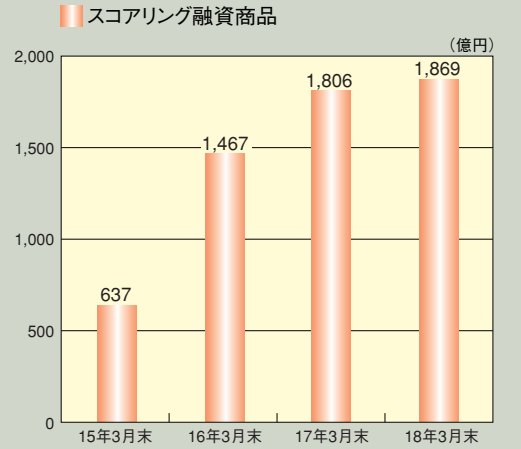
18年3月末の中小企業等への貸出金は、前年比1,457億円増加し、1兆9,155億円となりました。また、中小企業等貸出金比率は、前年並みの84.45%となりました。

埼玉県信用保証協会保証債務



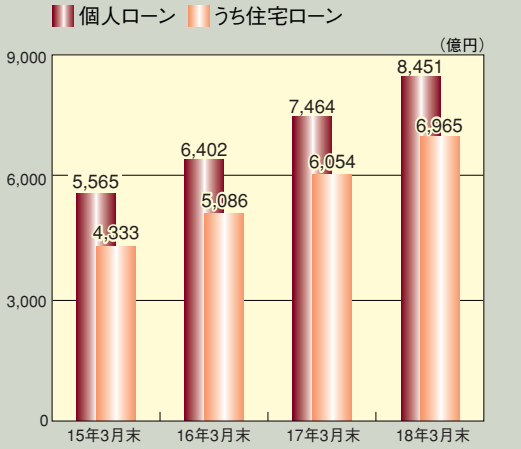
埼玉県信用保証協会の保証債務は、前年比227億円減少し、2,413億円となりました。当行シェアは、0.8ポイント低下の20.0%となりました。

事業者の皆様のご利用が進むスコアリング融資商品



スピード審査、無担保かつ第三者保証人不要のスコアリング融資商品は、中小企業の皆様に幅広くご利用され、18年3月末残高は、前年比63億円増加の1,869億円となりました。

順調に増加する個人ローン



住宅ローンセンターの拡充、ガン保障特約付き住宅ローン、エコハウスローンなどの付加価値の高い住宅ローンの順調な増加などから、18年3月末残高は、前年比987億円増加の8,451億円となりました。

県民の皆様とともに

事業者の皆様向け融資商品

商品名	特　長	ご融資金額	ご融資期間
むさしの「二刀流」	金利を固定・変動から選択できる、期間20年まで対応可能な融資商品です。	3億円以内	5年以上 20年以内
Wスペシャルファンド	5年以内で全期間固定金利型融資商品です。	3億円以内	5年以内
むさしの「企業力」(※)	無担保、第三者保証人・保証料不要、スピード審査のスコアリング融資商品です。	5千万円以内	5年以内
むさしの「スーパー企業力」	お取引のない方も対象となる無担保、第三者保証人・保証料・事務手数料不要、スピード審査のスコアリング融資商品です。	5千万円以内	5年以内
むさしの「ポプラ」 ーオリックス株式会社保証付ー	農林漁業、個人事業主やお取引のない方も対象となる無担保、第三者保証人不要のスコアリング融資商品です。	法人… 3千万円以内 個人事業主… 1千万円以内	5年以内
埼玉県事業資金「中小企業応援貸付」 (スーパーサポート資金) ー埼玉県信用保証協会保証付ー	お取引のない方も対象となる無担保、第三者保証人不要のスコアリング融資商品です。	5千万円以内	5年以内

(※)むさしの「企業力」は、県内商工会議所様等との提携を通じて、会員企業の皆様に金利優遇のサービスを実施しています。

個人の皆様向けローン商品

商品名	特　長	ご融資金額	ご融資期間
むさしの住宅ローン	低金利が特徴な「大満足」シリーズから、エコハウスローン、輝家姫(かぐやひめ)など付加価値住宅ローンまで、様々な選択肢をご用意しています。	5千万円以内	35年以内
マイカーローン	お車の購入費用のほか、車検やお車の修理代、借換にもご利用になれます。ご利用期間中、車のトラブルに備えたロードサービスを無料でセット。9月29日まで金利優遇キャンペーンを実施中です。	500万円以内	7年以内
奨学ローン	一般的な学費から予備校や留学の費用、下宿代にもご利用いただけます。当行とのお取引の内容に応じて最大1%の金利優遇サービスがご利用になれます。	500万円以内	11年6か月以内 (据置期間最長4年6か月含む)
カードローン 「むさしのモビット」	事業に関すること以外であれば、カード1枚で日本全国の提携金融機関のATMでご利用いただけます。	200万円以内	3年毎自動更新 (65歳まで)

New 三大疾病保障付住宅ローンを新発売

5月1日から、住宅ローン金利に0.3%金利を上乗せすると「ガン」・「脳卒中」・「急性心筋梗塞」の三大疾病を保障する住宅ローンの取扱いを始めました。「ガン」と診断された場合や、「脳卒中」・「急性心筋梗塞」を発病し60日以上所定の状態が継続した場合、住宅ローン残高が「0円」となります。さらに「ガン」の場合には、お見舞金が100万円支給されます。

県民の皆様とともに

産学官連携を支援

当行では、幅広いネットワークを活用し、“産”（企業）、“学”（大学など）、“官”（公的機関）の連携を支援しています。お客様の技術相談や共同研究などのニーズに積極的にお応えすることで、埼玉県内の産業振興と地域活性化への貢献活動を推進しています。なお、産学連携の支援強化に向けて、17年5月の学校法人東洋大学に続き、18年3月には埼玉工業大学との提携を実施しました。

［連絡窓口］

［東洋大学］

埼玉工業大学先端科学研究所　☎048-585-6895
工学部　機械工学科、応用化学科、
電子工学科、情報工学科

東洋大学工業技術研究所　☎049-239-1322
工学部　機械工学科、電子情報工学科、
応用化学科、環境建設学科、建築学科、
情報工学科、コンピュテーショナル工学科、
機能ロボティクス学科

武蔵野銀行法人部
ニュービジネス推進室　☎048-641-6111

［埼玉工業大学］

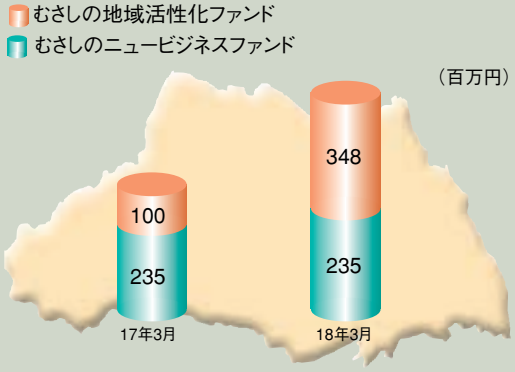
彩の国ビジネスアリーナ2006

2月9日（木）、10日（金）、さいたまスーパーアリーナにおいて「彩の国ビジネスアリーナ2006」を主催しました。このイベントは県内最大の展示商談会で370の企業が参加、約1万人のビジネスマンなどが来場し、活発なビジネス交流が繰り広げられました。

［彩の国ビジネスアリーナ2006当行ブース］

投資・融資で創業・ベンチャーを応援

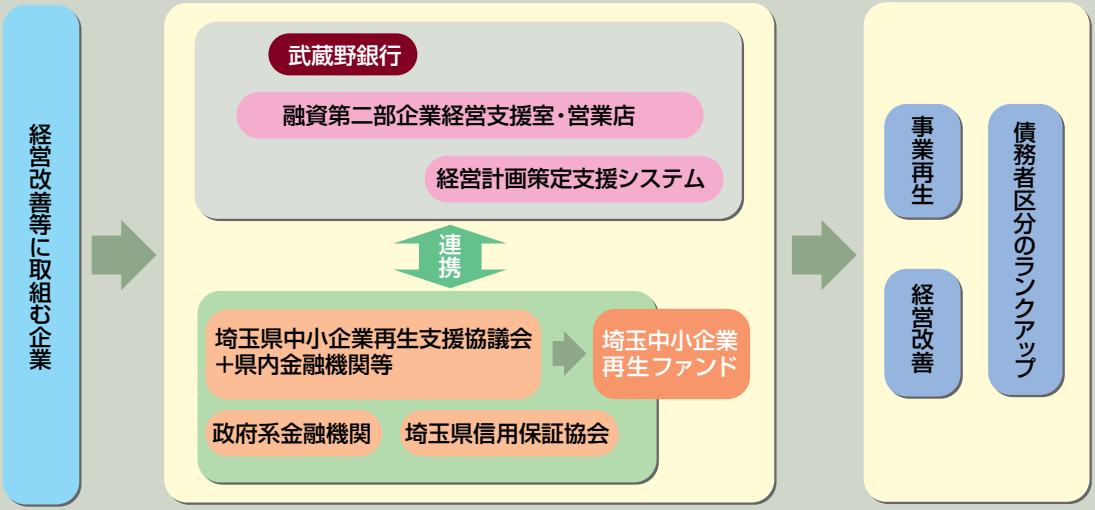
創業や成長が見込まれるベンチャー企業を資金面から応援する、「むさしの地域活性化ファンド」と「むさしのニュービジネスファンド」は、18年3月末現在で23件、583百万円の取扱実績となっています。当行初の投資商品「地域活性化ファンド」は、ほぼ予定額に達し、第2号ファンドの組成を検討中です。



県民の皆様とともに

企業経営支援室による事業再生支援

融資第二部企業経営支援室と営業店は、取引先企業の事業支援、再生支援のお手伝いをするため、フェイスツーフェイスでのコンサルティング活動を進めています。活動に当たっては、お客様の今後の事業や財務の計画等を十分にお聞きしたうえで、経営計画策定支援システムにより、企業診断書や中長期・月次の経営計画書を策定し具体的な提案や必要なアドバイスを行うとともに、お客様と一緒に考え、改善策を見出すよう努めています。17年度に経営計画支援システムによりご提案させていただいた件数は、587件でした。また、昨年11月に埼玉県中小企業再生支援協議会や県内金融機関等と連携して「埼玉中小企業再生ファンド」を総額30億円で組成しました。県民の銀行として企業再生の貢献期待にお応えしてまいります。



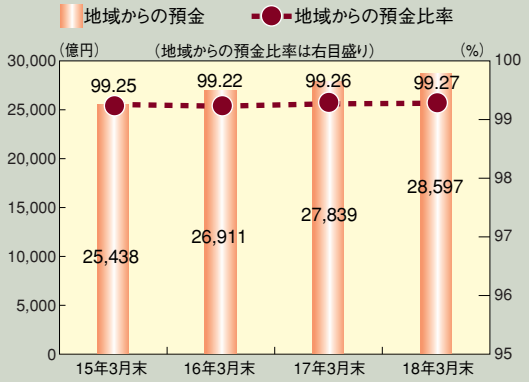
債務者区分のランクアップ活動

当行は、17年4月から「地域密着型金融推進計画」に基づき、お取引先の財務内容の改善等による債務者区分のランクアップ活動を積極的に推進しています。ランクアップとは、ご融資先を返済可能性等に応じて正常先、要注意先、破綻懸念先、実質破綻先、破綻先の5段階に区分し、事業再生等により上位ランクへ引上げることです。当行では、それまでの2年間に328先の成果を挙げましたが、さらに17年度、18年度の2年間に300先のお取引先のランクアップを目指しています。初年度の実績は、目標150先に対し161先で達成率107%となり、計画通り順調に推移しています。

	15、16年度実績	17、18年度計画	17年度実績		
			計　画	実　績	達成率
ランクアップ先数	328先	300先	150先	161先	107%

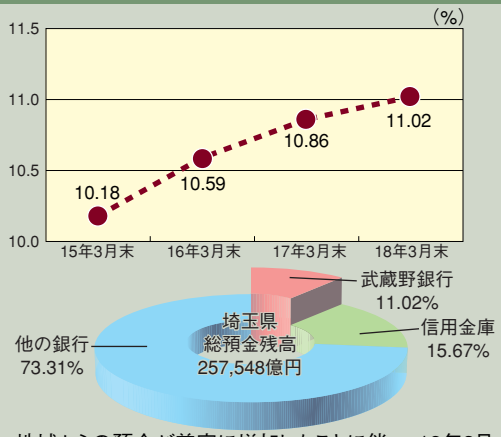
県民の皆様とともに

地域からの預金



18年3月末の地域からの預金は、前年比758億円増加の2兆8,597億円となりました。この結果、地域からの預金比率もほぼ横ばいの99.27%となりました。

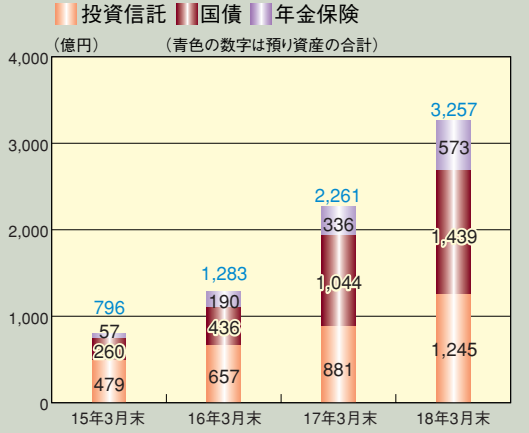
県内預金シェア



地域からの預金が着実に増加したことに伴い、18年3月末の県内預金シェアは、前年比0.16%ポイント増加し、11.02%となりました。

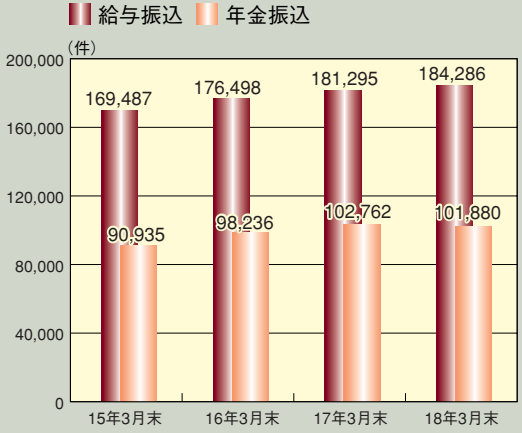
出所：埼玉県主要経済指標（関東財務局）をもとに当行で作成。
銀行は全店舗計（属地主義）、信用金庫は本店所在地ベース

地域からの預り資産



18年3月末の地域からの預り資産（投資信託、国債、年金保険）は、投資信託、国債を中心に前年比996億円増加し、3,257億円となりました。

給与・年金振込の口座数の状況



当行は、多数のお客様から給与や年金などの振込口座の指定を受けています。各口座数の状況ですが給与振込は毎年着実に増加し、年金振込も10万件を超える水準にあります。

※当行では「地域」について、埼玉県及び経済圏・生活圏等が重なる茨城県五霞町と位置づけています。

――お知らせ――

本ページに掲載されている「投資信託・個人年金保険の商品一覧」及び「証券仲介」業務と取扱店は、平成19年9月30日施行の「金融商品取引法」による広告等の規制に抵触するおそれがあることから削除させていただきました。

各商品・サービスについてのお問い合わせにつきましては、最寄りの営業店までご連絡をお願いします。

県民の皆様とともに

各種ご連絡先窓口のお知らせ

お問合わせの内容	電話番号等	受付時間帯
通帳・お届印・キャッシュカードの紛失、盗難	お取扱店 ☎048-647-0441	月～金　8:40～17:00 土日祝日、上記以外の時間帯
インターネットバンキング、各種預金商品、ポイントサービスに関すること	☎0120-18-6340	月～金　9:00～17:00
各種個人ローン商品に関すること	☎0120-30-6340	
事業性融資商品に関するお問合わせ、ビジネスマッチング等の相談	☎0120-22-6340	
外国為替相場、外貨預金等に関すること	☎0120-634-016	
個人年金保険、証券の取扱い、国債に関すること	☎048-641-6111 （FP営業推進室）	
投資信託商品に関すること	☎0120-6342-14	
創業、新事業に関する各種のご相談、確定拠出年金に関すること	☎048-641-6111 （ニュービジネス推進室）	
ぶぎん経営者クラブに関すること	☎048-647-8484	
エレクトロニック・バンキングサービスに関すること	☎048-648-5965	

個人向けローン専門の住宅ローンセンター

営業時間　月曜～土曜 9:00～17:00
※日曜・祝日は営業していません。

大　宮	当行大宮支店2階 ☎048-645-7720	朝　霞	JR武蔵野線北朝霞駅前 ☎048-487-2614
大宮西口	桜木町ビル3階 ☎048-641-6155	所　沢	当行新所沢支店2階 ☎04-2998-6441
南浦和	当行南浦和支店2階 ☎048-838-7533	南越谷	JR武蔵野線南越谷駅そば ☎048-985-6917
川　口	JR京浜東北線川口駅そば ☎048-258-1533	熊谷東	当行熊谷東支店2階 ☎048-527-6091
川　越	当行川越南支店2階 ☎049-248-2391	久　喜	当行久喜支店2階 ☎0480-21-6181

群馬県太田地区の法人向け事務所

太田オフィス

東武伊勢崎線太田駅南口徒歩4分国道407号線沿い。太田市役所向かい。

☎0276-47-1211

太田オフィスは、群馬県太田市を中心とするエリアの法人のお客様からのご融資に関するご相談、取次ぎを専門に行う事務所です。お問合わせをお待ちしています。

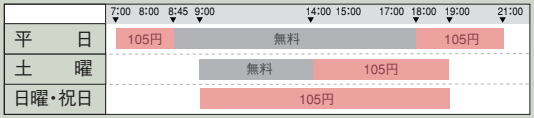
県民の皆様とともに

ATM・コンビニATMの利用時間帯、手数料

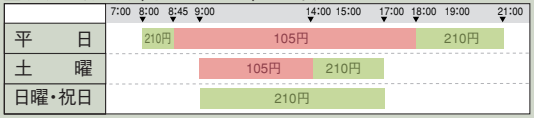
■当行ATM・CDをご利用の場合

■武蔵野銀行のキャッシュカードをご利用の場合

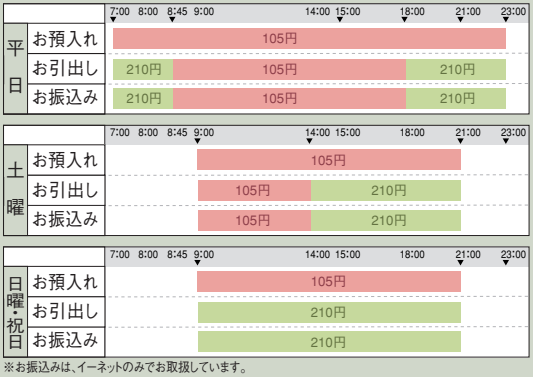
「お引出し」「お振込み」のお取引きの都度、1件あたり以下の「ご利用手数料」が必要となります（無料時間帯を除きます）。「お預入れ」「残高照会」「暗証番号変更」等は無料でご利用いただけます。
また、「お振込み」の場合には、別途「振込手数料」が必要となります。



■提携金融機関（郵便局を含む）のキャッシュカードをご利用の場合



■コンビニATM（イーネット、セブン銀行）をご利用の場合



※お振込みは、イーネットのみでお取扱しています。

お振込み手数料

		3万円未満	3万円以上
現金	他行宛	420円	630円
	当行本支店	105円	315円
	当行同一店	105円	315円
カード	他行宛	210円	420円
	当行本支店	105円	210円
	当行同一店	105円	210円

（消費税を含んでいます）

インターネットバンキング

インターネット・携帯電話により各種サービスをご利用いただけます。

■主なサービス内容・ご利用時間

パソコン（法人向け）

サービス内容		TypeⅠ	TypeⅡ	TypeⅢ	ご利用時間帯 月～金	ご利用時間帯 土・日・祝日	管理者承認時限
残高照会		○	○	○	7:00～22:00	8:00～20:00	―
入出金明細							
お振替	リアルタイム	○	○	○	7:00～22:00	8:00～20:00	承認不要
	予約				0:00～24:00		
お振込（他行宛）	リアルタイム	○	○	○	7:00～15:00	―	ご利用時間内いつでも可能
	予約				0:00～24:00		振込指定日7:00まで
お振込（当行宛）	リアルタイム	○	○	○	7:00～22:00	―	ご利用時間内いつでも可能
	予約				0:00～24:00		振込指定日7:00まで
一括伝送	総合振込		○	○	0:00～24:00		振込指定日前営業日17:00まで
	給与振込		○	○			振込指定日3営業日17:00まで
	地方税納付		○	○			振込指定日4営業日17:00まで
	口座振替			○			振込指定日2営業日17:00まで
メッセージ通知		○	○	○			―

※月～土曜日の4:00～5:00及び日曜日の2:00～6:00は、メンテナンスのためご利用いただけません。
※当座預金宛の振込、当座預金からの振込は、7:00～15:00となります。

・利用手数料　契約料金　5,250円
月間基本料金　TypeⅠ　1,050円、TypeⅡ　2,625円、TypeⅢ　3,150円
※利用口座1口座追加ごとに1,050円

お振込み手数料

	3万円未満	3万円以上	給与振込
他行宛	315円	525円	105円
当行本支店	105円	210円	無料
当行同一店	無料	無料	無料

パソコン（個人向け）・携帯

サービス内容		PC	携帯	ご利用時間帯 月～金	ご利用時間帯 土・日・祝日
残高照会		○	○	0:00～24:00	
入出金明細					
お振替	リアルタイム	○	○	7:00～22:00	8:00～20:00
	予約			0:00～24:00	
お振込（他行宛）	リアルタイム	○	○	7:00～15:00	―
	予約			0:00～24:00	
お振込（当行宛）	リアルタイム	○	○	7:00～22:00	―
	予約			0:00～24:00	
定期預金	リアルタイム	○		7:00～22:00	8:00～20:00
	予約			22:00～翌7:00	20:00～翌8:00
各種料金の払込み				7:00～22:00	8:00～20:00
各種お届け		○		0:00～24:00	
資料請求				0:00～24:00	

※月～土曜日の4:00～5:00及び日曜日の2:00～6:00は、メンテナンスのためご利用いただけません。
※当座預金宛の振込は7:00～15:00となります。

・利用手数料　無料でお使いいただけます。

お振込み手数料

	3万円未満	3万円以上
他行宛	210円	367円
当行本支店	105円	210円
当行同一店	無料	無料

（消費税を含んでいます）

県民の皆様とともに

地方公共団体への積極的な協力

指定・指定代理金融機関等として、公金出納事務により、県民の皆様にご利用いただいています。また、毎年、地方債の引受を通じて、学校・病院の整備、工業団地の造成など、社会資本の整備に協力しています。

［大久保浄水場排水処理施設整備事業］

社会福祉活動で埼玉県に協力

社会福祉活動の一環として、本年4月に、障害者用リフト付き大型バス「おおぞら5世号」を埼玉県に寄贈しました。また、昨年12月に、交通遺児の育英を目的に埼玉県交通安全対策協議会「交通遺児援護基金」に寄託しました。

［リフト付き大型バスおおぞら5世号］

文化・スポーツの振興活動に協力

県内の文化・スポーツ活動が盛んになることを願い、毎年開催される大宮薪能や日本スリーデーマーチに協力しています。また、お祭りや行事への参加、ロビーを活用した作品展開催など、地域の皆様との関わりを大事にしています。

［大宮薪能］

公益信託「むさしの緑の基金」で環境保全に協力

緑豊かな自然を次代に引き継ぐため、「むさしの緑の基金」による助成活動、緑のトラスト基金への寄託、国の分収育林制度への参加など、県内における自然環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

［18年度助成先「まちづくり協議会クローバ」のグリーンフェスタ］

お知らせ

キャッシュカードの安全対策をさらに強化

当行では、盗難・偽造カードによる不正な払戻し等の犯罪からお客様の大事な預金をお守りするため、キャッシュカードの各種セキュリティ対策を強化しています。

①一口座、一日当たりのご利用限度額（現金の払戻し、振込の合計）は、原則として200万円以下としています。
②お客様ご自身で200万円の範囲内、かつ1万円単位でご利用限度額を自由に決めることができます。
③ご利用時間帯やご利用場所をお客様が指定できます。
（当行ATM（店内・店外）のみかつ9時～17時30分）
④18年2月からICキャッシュカードのお取扱いを本店、浦和、川越の各支店でスタートし、9月末までには全店でご利用いただけます。

お客様も、以下の点には十分にご注意ください。

①暗証番号は、できる限り類推されやすい生年月日、マイカー、電話番号、住所など身近な数字や、4桁ともに同じ数字などは使用しないでください。
②暗証番号を類推できるものとキャッシュカードを一緒に保管しないようにしてください。
③カードを紛失した場合には、直ちに武蔵野銀行にご連絡ください。

盗難・紛失のご連絡先は		
月曜～金曜	8:40～17:00	お取扱店
土日祝日及び上記以外の時間帯		ATM監視センター、又はカード紛失受付共同センター ☎048-647-0441

個人情報の管理を一段と強化

17年4月に「個人情報保護法」が施行され、当行ではお客様の個人情報を取扱う際の基本姿勢や利用目的を宣言した「個人情報保護宣言（プライバシーポリシー）」を制定し、個人情報の厳格な管理・運営を行っています。

18年3月には、お客様の預金等のデータ管理の更なる強化とお客様からの取引履歴に関する照会に迅速に対応するため、本部に照会センターを設置しました。

個人情報に関するお問い合わせ窓口
お客さまサービス室 0120 FreeDial 0120-23-8634

預金保険制度について

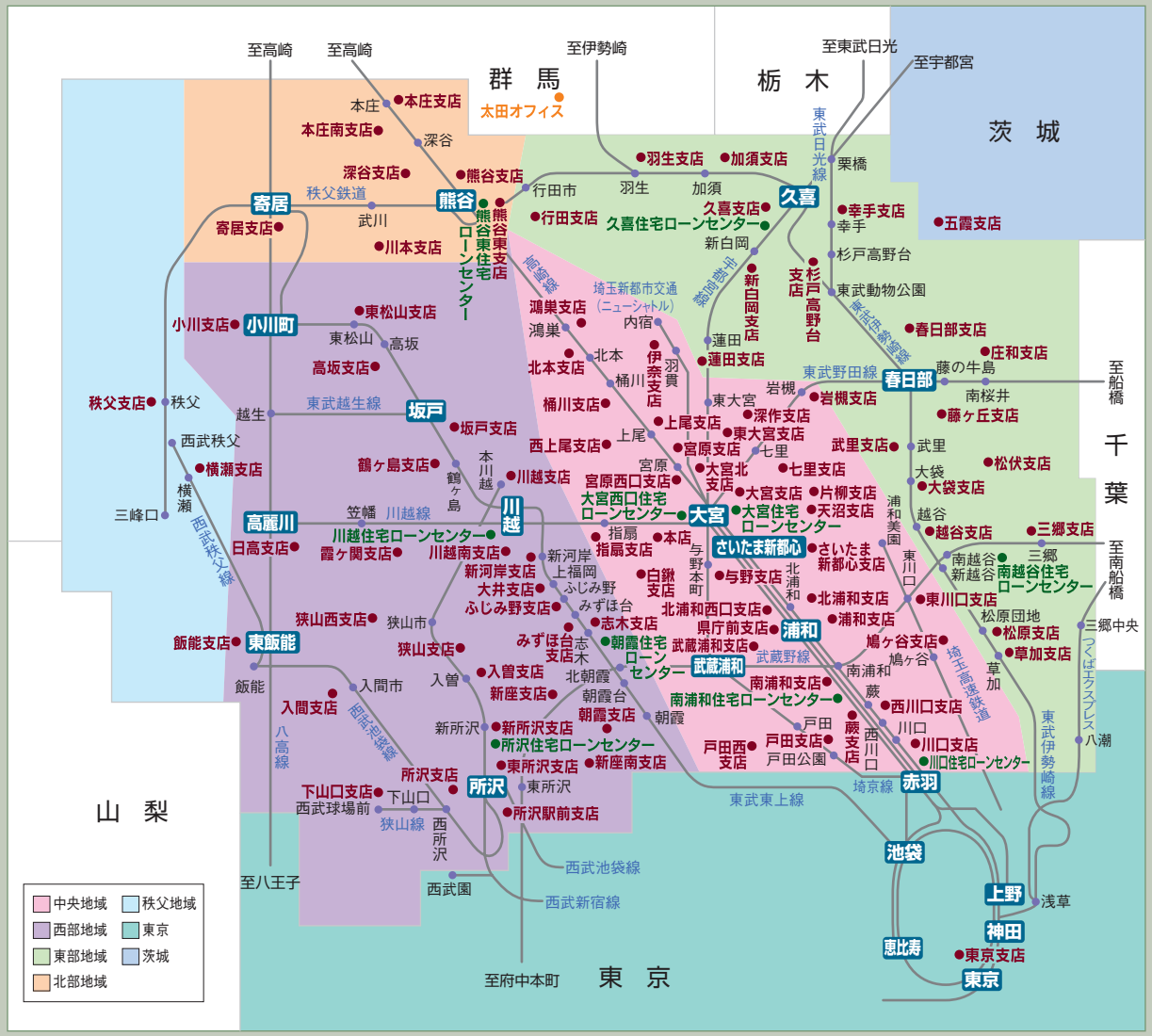
17年4月からペイオフが全面解禁され、預金保険制度に基づく一定の要件を満たした「決済用預金」のみが全額保護の対象となりました。したがって、「決済用預金」を除く預金は、預金保険機構によって、預金者一人当たり元本1千万円とその利息の払戻しを受けることになります。

なお、1千万円を超える元本とその利息は、破綻した金融機関の財産の状況に応じて支払われることになります。当行では、お取引先の皆様から安心してご利用いただくために、経営の健全性と透明性の確保を重要な経営課題と認識し取り組んでいます。

預金保険の対象預金等	当座預金 利息が付かない普通預金 別段預金	利息が付かない等の3要件を満たす預金（注1）は全額保護対象（恒久措置）
	利息の付く普通預金 定期預金 定期積金 貯蓄預金 通知預金等	合算して元本1,000万円までとその利息等（注2）（1,000万円を超える部分は、破綻金融機関の財産の状況に応じて支払われます（一部カットされることがあります。）。）
預金保険の対象外預金等	外貨預金 譲渡性預金等	保護対象外（破綻金融機関の財産の状況に応じて支払われます（一部カットされることがあります。）。）

（注1）決済用預金といい、「無利息、要求払い、決済サービスを提供できること」の3条件を満たすものです。
（注2）定期積金の給付補てん備金等もお利息と同額保護されます。

武蔵野銀行の店舗配置図



18年6月1日現在

武蔵野銀行　ホームページ　http://www.musashinobank.co.jp

〒330-0854　さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8　TEL.048-641-6111（代）

発行／平成18年6月　編集／武蔵野銀行　秘書広報部

R100　PRINTED WITH SOY INK
このミニディスクロージャー誌は古紙配合率100%再生紙を使用しています。
また、環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。